

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	野口 啓子	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3719		事務事業名称	児童健康支援一時預り事業						短縮コード	経常	3719	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	02	児童措置費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
子育てと就労の両立の支援として国が平成6年より、事業を開始した。その事業を知る小児科医院が、診療所の建設にあわせて事業実施の申し出があり、委託した。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
利用者が増加している。新規委託先の確保。							大項目（節）	02	社会福祉					
							中 項 目	01	児童福祉					
							小項目（施策）	01	保育園の充実					
							細 項 目	02	多様な保育ニーズへの対応					
						実 施 計 画 の 計 画 事 業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成11年4月 ～ 平成12年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	保育園・学童保育所等に通っている児童							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： あべこどもクリニックに委託して、病後児保育を実施する。①申し込み②決定③保育実施④報告⑤委託料支払い							
	※平成21年度に計画していること： あべこどもクリニックに委託して、病児・病後児保育を実施する。①申し込み②決定③保育実施④報告⑤委託料支払い							
意図 （何を狙っているのか）	就労している保護者がこどもの病気看護で、休まなくてすむ。仕事と子育ての両立支援							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	保育園，学童保育所に通っている児童	人	31, 457	31, 600	32, 245	32, 400	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	利用した児童	人	1, 286	1, 300	1, 396	1, 450	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	利用した児童の割合	%	4. 08	4. 11	4. 33	4. 48	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3719	事務事業名称	児童健康支援一時預り事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			現在、市内1カ所で実施しているが、今後他地域に増設することにより市内全域をカバーする。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経費			利用者の増加や、今後他地域に新規委託することによりコストは増加する。	
				削減	不変	増加		
		成果	向上	☐	☐	☒		
			不変	☐	☐	☐		
			低下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
新規委託先の確保									

所属長コメント	就労している保護者が，病気看護で仕事を休まなくても安心して児童を預けられる，仕事と子育ての両立支援事業であり，保護者のニーズも高く，今後も継続していく必要性の高い事業である。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，課題解決に努め，可能なことは順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									